

北部機械金属業界の景況動向

(2012年7~9月実績/2012年10~12月見通し)

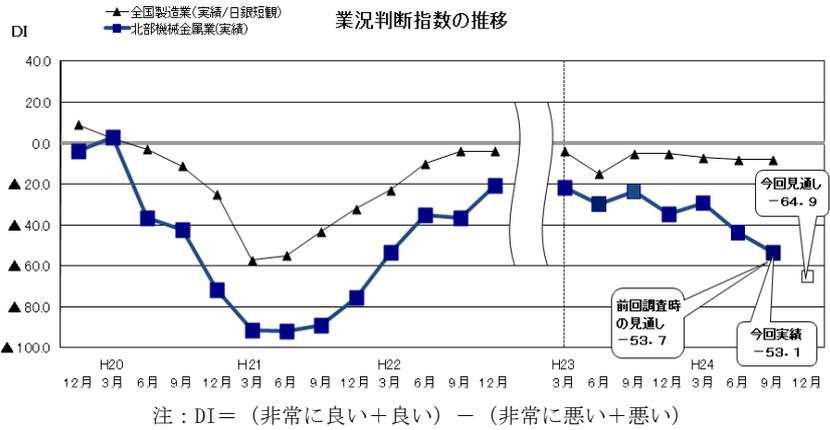
- 調査対象：福知山市以北5市2町の機械金属関係企業284社 【調査時点 平成24年9月下旬】
- 回答数：116社（回答率40.8%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:13、舞鶴市:18、綾部市:21、宮津市・与謝郡:14、京丹後市:50
 - ②取扱別 = 一般機械:46、電気機械:14、輸送機械:22、精密機械:19、その他:15
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:46、10~19人:21、20~49人:27、50~99人:12、100人以上:10
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

— 調査結果 —

1 景況動向判断

●7~9月実績のDI(業況判断指数)は-53.1

1となり、前回調査(4~6月分。以下「前回」という。)より▲9.5ポイント悪化した(前回-43.6)。地域別に見ても、福知山市域は-23.1(前回-24.9)、舞鶴市域は-38.8(前回0)、綾部市域は-62.0(前回-66.6)、宮津市・与謝郡域は-76.9(前回-71.4)、京丹後市域は-56.0(前回-47.1)と、全ての地域でマイナスの値となっており、北部地域全体で落ち込んだ景況感となっている。



●10~12月見通しのDIは-64.9と、前回より▲11.2ポイント悪化した(前回-53.7)。地域別に見ると、福知山市域は-15.4(前回-31.1)、舞鶴市域は-61.1(前回-26.7)、綾部市域は-66.6(前回-66.6)、宮津市・与謝郡域は-92.3(前回-69.2)、京丹後市域は-71.5(-61.2)と、福知山市域を除く地域で7~9月実績よりも悪い見通しとなっており、特に舞鶴市域が前回より▲34.4ポイント悪化している。

0.9 景況動向判断 7~9月実績

全体	6.9	31.3	51.3	9.6
	<input type="checkbox"/> 非常に良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 悪い <input type="checkbox"/> 非常に悪い			
福知山市	7.7	7.7	46.1	38.5
舞鶴市	16.7		27.8	38.9
綾部市	9.5	19.0		66.7
宮津・与謝		23.1	69.2	7.7
京丹後市	4.0	36.0	48.0	12.0

景況動向判断 10~12月見通し

全体	3.5	28.1	56.1	12.3
	<input type="checkbox"/> 非常に良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 悪い <input type="checkbox"/> 非常に悪い			
福知山市	15.4		53.8	30.8
舞鶴市		38.9	44.4	16.7
綾部市	4.8	23.8	61.9	9.5
宮津・与謝	7.7		84.6	7.7
京丹後市	2.0	24.5	57.2	16.3

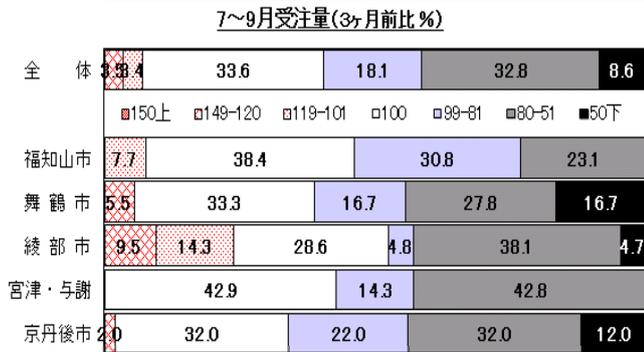
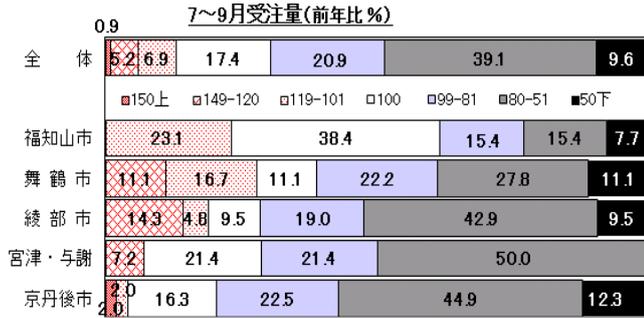
2 採算状況

●7~9月の採算状況は、黒字とする企業が21.7%(前回18.9%)、赤字とする企業が38.3%(前回33.3%)と、赤字企業が黒字企業を上回る厳しい状況が日常化している。地域別では、福知山市域では黒字とする企業の割合が大幅に増加(前回37.5%)しているが、その他の地域は赤字とする企業の割合も増加している。

7~9月採算状況

全体	21.7	40.0	38.3
	<input type="checkbox"/> 黒字 <input type="checkbox"/> トントン <input type="checkbox"/> 赤字		
福知山市	53.8		30.8
舞鶴市	16.7	55.5	27.8
綾部市	23.8	33.3	42.9
宮津・与謝	42.9		57.1
京丹後市	20.4	38.8	40.8

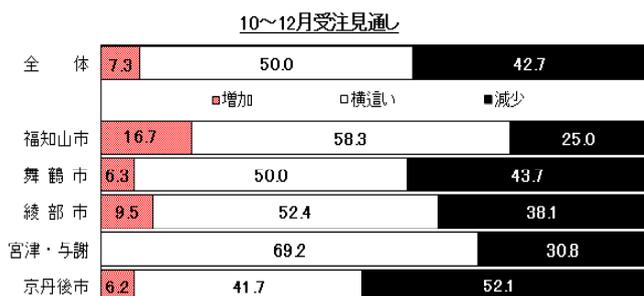
3 受注量



●7～9月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は30.4%（前回43.6%）と減少した。特に、京丹後市域では対前年同期比100%以上を確保できた企業は、約2割に過ぎなかった。対3か月前比100%以上を確保した企業も40.5%（前回49.0%）と減少したが、綾部市域では、対3か月前比100%以上を確保できた企業が半数を超えた。

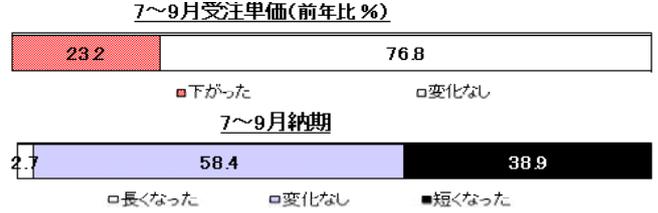


●7～9月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は17.7%（前回22.7%）と減少した。地域別では、すべての地域で7割以上の企業が100%未満となっている。



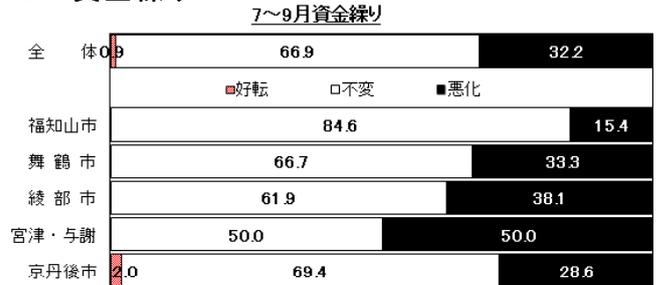
●10～12月の受注見通し（左下図）は、減少と見込む企業の割合が42.7%と増加した（前回30.5%）。宮津市・与謝郡域では、前回調査と同様に増加を見込む企業は皆無となっている。

4 受注条件（受注単価／納期）



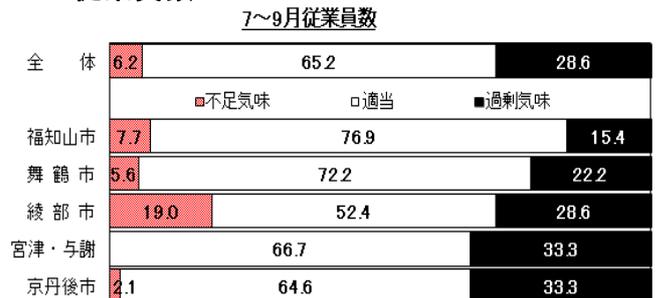
●受注単価が下がったとする企業は23.2%（前回26.6%）、納期が短くなったとする企業は38.9%（前回41.3%）と、前回調査と同様に厳しい状態が続いている。また、受注単価が上がったとする企業がなくなった。

5 資金繰り



●資金繰りは、不変とした企業が66.9%（前回70.9%）となった。地域別では、京丹後市域以外では好転とした企業は皆無であり、悪化とした企業の割合は宮津市・与謝郡域で最も高くなっている。

6 従業員数



●従業員数は、不足気味が6.2%（前回10.4%）、過剰気味が28.6%（前回28.3%）となった。地域別では、宮津市・与謝郡域では不足気味とした企業が無く、宮津市・与謝郡域及び京丹後市域では3割以上の企業が過剰気味となっている。